

ウクライナの至宝 Gold Treasures of Ukraine

スキタイ黄金美術の煌き



馬形飾り板(スラヴ, 6~7世紀)
National Historical Museum of Ukraine /
Museum of Historical Treasures of Ukraine

男性形飾り板(スラヴ, 6~7世紀)
National Historical Museum of Ukraine /
Museum of Historical Treasures of Ukraine



メダイヨン「復活」(ロシア正教, 18世紀)
National Historical Museum of Ukraine /
Museum of Historical Treasures of Ukraine

ロシア皇帝を魅了した黄金の民—— ウクライナを駆け抜けた遊牧民戦士スキタイ。

紀元前7世紀、遊牧騎馬戦士として恐れられたキンメリア人を駆逐して一気に歴史の舞台へ駆け上ったスキタイ人。とはいえ、文字を持たない彼らの実像は、ヘロドトスらギリシャ人の書き残した資料で知る以外、多くが謎に包まれたままでした。しかしスキタイ人は、豪華な金製品が出土することから「草原のピラミッド」とも呼ばれる古墳を、黒海北岸、現在のウクライナに数多く残しました。この古墳から出土する副葬品は、高い美意識によって完成されたスキタイ独特の造型感覚にあふれ、美しいだけではなく、スキタイ人の神話や生活など、さまざまな情景が描かれていることから、スキタイ人の謎を解き明かす貴重な資料にもなっています。

この展覧会では、ウクライナの独立20周年並びに日本との外交関係樹立20周年となることを記念して、ウクライナから門外不出といわれた国宝級の資料がやってきます。展示では、こうした発掘品の調査・研究をもとに、近年、明らかとなりつつあるスキタイ人の姿を浮き彫りにするとともに、スキタイ以前にこの地に住んだキンメリア、スキタイと共存していたギリシャ系都市国家、あるいはスキタイをこの地から追い出したサルマタイ、さらにはその後、バイキングが築いたキエフ大公国まで、時代・民俗・文化ごとの特徴的な遺物223点によって、東西文化が去来したこの国の歴史や文化もご紹介します。



上/猪像(スキタイ, 前4世紀)
National Historical Museum of Ukraine /
Museum of Historical Treasures of Ukraine



左/女性かぶり物(スキタイ, 前4世紀, 復元)
National Historical Museum of Ukraine /
Museum of Historical Treasures of Ukraine

下/儀礼文様額飾り(スキタイ, 前4世紀) (部分)
National Historical Museum of Ukraine /
Museum of Historical Treasures of Ukraine



胸飾り(ハザル, 7~8世紀) (部分)
National Historical Museum of Ukraine /
Museum of Historical Treasures of Ukraine



講演会

「スキタイ黄金美術と動物文様」

講師：林 俊雄(創価大学文学部教授)
9月18日(日) 13:30~15:00

「ウクライナってどんな国? その1 記者の見て歩き紀行」

講師：道面雅量(中国新聞文化部記者)
9月25日(日) 13:30~15:00

「ウクライナってどんな国? その2 ようこそ ウクライナへ」 広島県立美術館友の会共催

講師：マリア・ベヴナ(在日ウクライナ大使館文化担当)
10月8日(土) 14:00~15:30

※いずれも会場は地階講堂。30分前開場。
先着200名様、聴講無料。終了時間は目安です。



スキタイくん

ワークショップ

①「スキタイ黄金美術にせまる〜金属レリーフにチャレンジ」

講師：広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科(金属造形)学生
10月9日(日) 10:00~、13:30~(午前・午後とも定員15名)

②「七宝でウクライナをイメージする〜アクセサリー作り」

講師：粟根仁志(七宝作家, 日本工芸会正会員)
10月23日(日) 10:00~、13:30~(午前・午後とも定員15名)

※いずれも会場は3階ロビー。
参加を希望する場合は、①は9月30日、②は10月14日までに往復はがきで広島県立美術館(ウクライナの至宝展イベント担当)までお申し込みください。その際、往信欄にワークショップの番号と午前・午後のいずれか、住所、氏名、年齢及び電話番号、返信用はがきに返送先を記入してください。1通でのお申込みは2名までとさせていただきます。ワークショップの所要時間は2時間程度、参加料は1,500円程度です。希望多数の場合は抽選とさせていただきます。

託児サービス

10月9日(日)~16日(日)に託児サービスを行います。
詳しくは当館ホームページをご覧ください。



名勝「縮景園」とともに歩むアートの杜

広島県立美術館
HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM

〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22
tel.082-221-6246 fax.082-223-1444

http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/
交通/JR広島駅より約1km、広島城より約400m、市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白鳥線で「縮景園前」下車約20m

ギャラリー・トーク

担当学芸員が展示室内で作品解説をします。
金曜日11:00~/18:00~、10月1日及び8日を除く土曜日15:00~(いずれも約40分間)。
3階企画展示室(本展の入館券が必要です)。

よくわかる解説付き鑑賞会

担当学芸員が鑑賞の参考となるレクチャーを行います。
10月1日(土) 14:30~(約1時間)、地階講堂(14:00開場)。参加者には団体割引券を進呈。聴講無料。

ウィークリーロビーコンサート

県内音楽家により本展にちなんだ演奏会を開催します。
毎週土曜日13:00~(30分から1時間)、1階ロビー。
鑑賞無料。

お得な相互割引

オリエンタルホテル広島、八丁座、サロンシネマ、シネツイン本通り、シネツイン新天地
本展会期中、本展のチケット半券で、オリエンタルホテル広島の各レストランが10%、上記映画館の一般料金が500円割引になります。
オリエンタルホテル広島の各レストランのレシート及び映画館のチケットで本展が団体料金になります。
他の割引との併用はできません。

展覧会期間限定オリジナルメニュー

アランピック(当館斜向い)のレストラン7店舗及び当館内レストラン「ラ・シガール」では、本展会期中に限り、特製メニューのお食事をお楽しみいただけます。

ワンコイン縮景園

本展入館券をご提示いただくと、本展会期中「一般」「高校・大学生」の方は縮景園に100円で入園できます。詳しくは当館1階総合受付または縮景園受付でお尋ねください。